

2023 年度 佐賀大学 (前期)

医学部

試験時間 : 120 分

📖 全問必答

1 四面体 OABC において、 \vec{OA} , \vec{OB} , \vec{OC} をそれぞれ \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} とおく。これらは

$$|\vec{a}| = |\vec{b}| = 2, \quad |\vec{c}| = \sqrt{3}$$

および

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = 0, \quad \vec{a} \cdot \vec{c} = \vec{b} \cdot \vec{c} = \frac{1}{2}$$

を満たすとする。頂点 O から $\triangle ABC$ を含む平面に垂線を引き、交点を H とする。次の間に答えよ。

- (1) $|\vec{AB}|^2$, $|\vec{AC}|^2$, $\vec{AB} \cdot \vec{AC}$ の値をそれぞれ求めよ。
- (2) 実数 s, t により \vec{AH} が $\vec{AH} = s\vec{AB} + t\vec{AC}$ と表されるとき、 \vec{OH} を $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, s, t$ を用いて表せ。
- (3) (2) の s, t の値をそれぞれ求めよ。
- (4) 四面体 OABC の体積を求めよ。

2 0 から 3 までの数字を 1 つずつ書いた 4 枚のカードがある。この中から 1 枚のカードを取り出し、数字を確認してからもとへもどす。これを n 回くり返したとき、取り出されたカードの数字の総和を S_n で表す。 S_n が 3 で割り切れる確率を p_n とし、 S_n を 3 で割ると 1 余る確率を q_n とするとき、次の間に答えよ。

- (1) p_{n+1} および q_{n+1} を p_n, q_n を用いて表せ。
- (2) p_n および q_n を n を用いて表せ。また、極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} p_n$ および $\lim_{n \rightarrow \infty} q_n$ を求めよ。

3 a, b, c, d は実数とし、 $x^4 + ax^3 + bx^2 + cx + d$ を $f(x)$ とおく。4 次方程式 $f(x) = 0$ が 2 つの実数解 $\sqrt{6}, -\sqrt{6}$ および 2 つの虚数解 α, β を持つとする。次の間に答えよ。

- (1) $\alpha + \beta, \alpha\beta, c, d$ を a, b を用いて表せ。
- (2) 複素数平面上において点 $A(\alpha), B(\beta), C(-\sqrt{6})$ が同一直線上にあるとき、 a の値を求めよ。
- (3) (2) において、さらに点 $A(\alpha), B(\beta), D(\sqrt{6})$ が正三角形の 3 つの頂点となるとき、 b の値を求めよ。

4 次の間に答えよ。

(1) 等式 $(\tan \theta)' = \frac{1}{\cos \theta}$ を示せ。また、定積分 $\int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} \frac{1}{\sin^2 \theta} d\theta$ の値を求めよ。

(2) 等式

$$\frac{\cos \theta}{1 + \sin \theta} + \frac{\cos \theta}{1 - \sin \theta} = \frac{2}{\cos \theta}$$

を示せ。また、定積分 $\int_0^{\frac{\pi}{6}} \frac{1}{\cos \theta} d\theta$ の値を求めよ。

(3) 定積分 $\int_0^{\frac{\pi}{6}} \frac{1}{\cos^3 \theta} d\theta$ の値を求めよ。

2023年度 佐賀大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

(1) $|\vec{AB}|^2 = 8, |\vec{AC}|^2 = 6, \vec{AB} \cdot \vec{AC} = 4$ (2) $\vec{OH} = (1-s-t)\vec{a} + s\vec{b} + t\vec{c}$

(3) $s = \frac{5}{16}, t = \frac{3}{8}$ (4) $\frac{\sqrt{46}}{6}$

2

(1) $p_{n+1} = \frac{1}{4}p_n + \frac{1}{4}$

(2) $p_n = \frac{1}{3} + \frac{1}{6}\left(\frac{1}{4}\right)^{n-1}, q_n = \frac{1}{3} - \frac{1}{12}\left(\frac{1}{4}\right)^{n-1}$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} p_n = \frac{1}{3}, \lim_{n \rightarrow \infty} q_n = \frac{1}{3}$$

3

(1) $\alpha + \beta = -a, \alpha\beta = b + 6, c = -6a, d = -6b - 36$

(2) $a = 2\sqrt{6}$

(3) $b = 8$

4

(1) 証明は省略, 1

(2) 証明は省略, $\frac{\log 3}{2}$

(3) $\frac{1}{3} + \frac{\log 3}{4}$